

ボランティア・市民活動情報誌

COMVO

2022
10月号
vol. 270

communication x voluntary



特集

誰一人取り残さない

SDGs「持続可能な開発目標」

いくつになっても『本日青春』

アクティブに、自分らしい人生を

シニアミュージカル 発起塾

56 『ウィズ・コロナ』の一步に向けて
ボランティア活動の魅力を発信

浪速区社会福祉協議会・港区社会福祉協議会

8 おいでよ!地域のこどもたち

地域のみんなで一緒に楽しく食べる場所

やたなか@ふたばの会



兵庫県・沼島での出前ミュージカル公演

特集

誰一人取り残さない
SDGs「持続可能な開発目標」

いくつになっても『本日青春』 アクティブに、自分らしい人生を

シニアミュージカル 発起塾

3 すべての人に
健康と福祉を



平均年齢は68歳、最高齢は87歳！
『シニアミュージカル 発起塾』は、シニアの生涯学習や生きがいづくりを、歌あり、踊りあり、お芝居ありのミュージカルを通じて実践しているNPO法人です。

塾生たちは人生100年のターニングポイントを迎えて、これからはもっとハッピーに、活動的に楽しみたいと考えている人たち。プロ講師の指導を受けながら、歌・ダンス・演技を練習し、年に1回の自主公演を行っています。さらに劇場のみならず、各地の施設で『出前ミュージカル』も実施。フットワーク軽く地域に飛び込み、多くの人に笑顔を届けています。

50歳からの未経験者が
ミュージカルに挑戦！

『シニアミュージカル 発起塾』（以下、発起塾）の入塾条件は、「50歳以上、100歳未満の演劇未経験者」。現在、大阪・京都・神戸・名古屋の4拠点に総勢158人の塾生が在籍しています。

「発起塾を設立したのは1999年です。当時、大手スーパーで求人募集の張り紙に、どれも「50歳以下」と書かれているのを見て、だったら50歳からしか入

れない劇団を自分のライフワークとしてつくり出したんです」と、代表であり脚本・演出家の秋山シュン太郎さん（以下、秋山さん）。

ミュージカルと聞くと素人には難しいイメージがありますが、その頃の50〜60代は若い頃に社交ダンスやカラオケを楽しんできた人たち。ストーリーがシンプルで、セリフも覚えやすいミュージカルなら、きつと面白いものができるという確信があったと話します。

現在も、発起塾設立当初からのメンバーが多く活躍。また、発起塾が紹介された新聞記事を何年も大事に取っておき、子育てや親の介護を終えて参加したという人も少なくありません。



舞台では、平均年齢68歳のパワーが炸裂!



代表の秋山シュン太郎さん(右)と副代表の高石光恵さん

「私たちは若い頃と変わらないまま、多忙さの中で気が付いたらシニア世代を迎えていたんです。ようやくやりたいことができると思った時には、身体の動きが遅くなっていたり、物覚えが悪くなっていたり。発起塾はそんな仲間ばかりなので、誰でも気兼ねなく参加してもらいたいと思っています」と、副代表の高石光恵さん（以下、高石さん）はにこやかに話します。

劇場から地域の施設まで 活躍の場は幅広く

そんな発起塾のメインテーマは『本日青春』。舞台の脚本はすべて秋山さんが書き下ろしたもので、ミス터리やSF、ラブコメディなどに、シニアに身近な出来事がユーモラスに取り入れら



年に一度、舞台公演で練習の成果を披露

れています。時には楽器演奏や殺陣などのアクションも練習。12組のチームがそれぞれひとつのミュージカルを仕上げ、年に二回、劇場公演を行っています。

「衣裳でセーラー服を着たり、ミニスカートを履いたり。皆さん、恥ずかしがりながらも本当に楽しそうですよ」と、高石さん。

「1年も経つと、皆さん若返った印象になります。ダンスでも、ジャズやタップなど公演ごとに新しいことにチャレンジするし、そういうところも向上心や生きがいにつながっていくんでしょうね」と、秋山さんも高石さんの言葉に頷きます。



高齢者施設での出前公演も大盛況!

発起塾には、劇場公演を行う「公演組」のほかに、高齢者施設などへボランティアで出前公演を行う「ツアー組」があります。出前公演は、ミュージカルに簡単な歌や手遊び、ダンスメドレーなどを組み合わせたもので、内容や公演時間は依頼に合わせて対応しています。

「お年寄りにダンスや芝居を見せてあげたい、という依頼に応えたくてツアー組をつくりました。ちょっと広めのスペースと着替えができる場所を用意してもらえば、どこへでも行きますよ」と、秋山さん。

東日本大震災後には、仮設住宅なども含め、東北の約70か所で慰問公演を実施。時には限界集落や離島にも出かけ、多くの人たちとふれあってきました。

コロナ禍の打撃の中でも メンバー丸となって

立ち上げ以来、好調に活動を続けてきた発起塾。しかし、2020年に現れた新型コロナウイルス感染症の影響はとても大きなものでした。

「コロナ禍で二番打撃を与えられたのがシニア層。高齢者施設からの公演依頼はまったく無くなり、塾生の中にも、不安で稽古に来られなかったり、家族から外出を止められる人がいました。運営面でも、劇場公演を行えば行うほど赤字が膨らむという厳しい状況になりました」と、秋山さん。



コロナ禍でも休むことなく練習を継続

それでも誰一人辞める塾生はなく、少しでも体調に不安があれば進んで稽古

を欠席するなど、一人ひとりが自己管理を徹底。ウイルス感染を防いで発起塾を守ろうという意識で、メンバーが団結していきました。また、稽古の時間を割いてスマートフォンを使い方を猛練習。連絡事項を全員がSNSで共有するとともに、稽古場に参加できない人もリモートでつながることで、メンバー同士が支え合い、モチベーションを維持していきました。

ツアー組の出前公演も、さらにコンパクトな演目に練り直し、地域のふれあい喫茶や子育て支援の催しなどでの活動にシフト変更。見学も積極的に受け入れ、新たな分野にも公演先を広げようと試みています。

新たな取組みにも 積極的にチャレンジ

発起塾では、ウイズ・コロナを見据えた新たな取組みも始まっています。そのひとつが、シニアによるシニアのためのインターネットテレビ『本日青春テレビ』です。

シヨートドラマ、歌やダンスのシヨートタイム、スマホ教室、落語上演などの月替わりプログラムが、会員登録すればい

つでも視聴可能。病気や美容に関してもシニアが抱える不安や悩みをテーマにした興味深いコーナーもあります。出演はもちろん、台本やカメラを担当しているのも塾生で、等身大の人たちが元気に活躍する姿は、通常のテレビ番組にはない親しみやすさを感じます。

「人生100年と考えると、まだまだできることは多いはず。発起塾でも、脚本づくりを学ぶ『脚本講座』や、物語などの朗読劇を行う『芝居語り講座』など、体力や記憶力に自信のない人が楽しめるクラスを始めました。

これからは、企業などでの健康づくりとして、さまざまなお出張ワークショップも行っていききたいし、そんな中



『本日青春テレビ』の撮影風景

加齢を豊かな人生経験として活かしながら、自分らしく、いきいきと生きる。発起塾の皆さんの青春は、まだまだこれから続いています。

問合せ

シニアミュージカル 発起塾 制作室

〒556-0017 大阪市浪速区湊町1-3-1

湊町リバープレイス1階

TEL.06-4703-5485

Eメール hokkimail2000@hokkijuku.net

http://hokkijuku.net



メンバー全員の一生懸命な姿を観客へ



笑顔をつくる

あなたの募金が



今こそ福祉に支援の手を!

赤い羽根共同募金

10月から始まる共同募金にご協力よろしくお願いします

大阪芸術大学 デザイン学科 北辻 陽

スマホからも募金できます



共同募金は、誰でも、いつでも、どこでも、生涯参加できるボランティア活動です。
皆様からのご支援は、ごども食堂の運営、ひとりぐらし高齢者や災害時の支援等に活用しています。

大阪市ボランティア・市民活動センター所長
上野谷 加代子

『ウィズ・コロナ』の二歩に向けて ボランティア活動の魅力を発信

コロナ禍での行動制限から、感染防止対策を継続しながらも、社会・経済活動をしっかりと進めていく『ウィズ・コロナ』へ。各区のボランティア活動も、積極的な取り組みで新たな歩を踏み出そうとしています。

浪速区夏のボランティア体験〜2022〜 浪速区社会福祉協議会

次代の活動者を増やすために

コロナ禍の3年間、「活動者のつながりを絶やさない」を合言葉にボランティア活動を支援してきた浪速区社会福祉協議会。



自分用のトング&ケースを持って、ごみ拾いを体験!

夏休み期間を利用した『夏のボランティア体験』については、昨年、昨年も規模の縮小や一部プログラムの中止をいくつか開催してきました。

「浪速区は、登録ボランティアグループが9団体で、個人ボランティアの数も多くはありません。参加者の皆さんには、グループと交流し、活動を体験してもらうことで、将来は主体的にボランティア活動を行ってもらえれば」と、ボランティア・コーディネーターの松井さんは話します。

ボランティアを楽しく体感

今回実施したのは6つのプログラム。令和元年度以来、高校生以下の参加を増やすことを意識しており、参加



初めての点字体験に夢中

ループと話し合いながら、小学生も楽しく参加できる内容を検討しました。

例えば、自分の名前を点字で打ってしおりを作る体験や、ごみ拾い用トングの収納ケースを作った後に、周辺のゴミ拾いに出かける体験など。認知症サポーターの体験では、子どもたちが実際に車いすに乗る機会や、認知症について分かりやすく理解ができるクイズも用意しました。

ボランティアグループの皆さんも、

子どもたちや他のグループとの交流に「楽しくて有意義な時間が過ごせた」と大喜び。無事にすべてのプログラムが実施でき、コロナ禍の中での今後のボランティア活動への意欲にもつながりました。

コロナ禍でも活動を止めない

今回のプログラムを振り返り、「来年はボランティアグループをもっとスムーズにサポートできるように、万全の事前準備を心がけたい」と、松井さん。保育ボランティアや精神保健福祉ボランティアなど、今回は感染防止への配慮からプログラムを実施できなかったグループについても、工夫を凝らして実施したいと意気込みます。

「コロナ禍の中でも皆さんに活動を止めてほしくはありません。活動に対するモチベーションが下がってしまわないよう、たとえ1時間でも30分でもボランティアルームを利用し、各グループと一緒にできることを考えながら応援していきたいと思っています」と、今後に向けての想いを伝えてくれました。

問合せ

浪速区ボランティア・市民活動センター
TEL 06-6636-6027 FAX 06-6636-6028
<https://naniwa-ku-cosw.or.jp/>

令和4年度☆ぷち☆夏のボランティア体験 港区社会福祉協議会

新たな出会いの場をつくる

港区社会福祉協議会（以下、港区社協）では、7月下旬から9月初旬にかけて『☆ぷち☆夏のボランティア体験』が行われました。

小学生以上を対象とし、シニアの参加も大歓迎！カフェボランティアでは『ぷち夏祭り』を開催し、体験参加者にはヨーヨーすくいなどの催しのスタッフとして参加してもらいました。



参加者みんなで夏祭りの準備

「ボランティアグループも活動止が当たり前のような状態になっていて、そんな中で皆さんが「もう一度頑張ろう」と思えるきっかけになるよう、規模を縮小してでも開催したかったんです」と、岡田さん。

今回は、「コロナ禍でも安心して体験が行えるよう、普段

活動休止が続くなかで…

ほかにも、バルーンアートづくりや広報紙の朗読（音訳）、おもちゃ病院のドクター体験などを通してボランティア活動の魅力を発信。

「ボランティアに興味を持ってきている人には体験を、ボランティアグループには活動への思いや良さを再認識してもらいたい。そして双方にとって素敵な出会いの場となることを目的に実施しました」と、ボランティア・コーディネーターの岡田さんは話します。

から港区社協のボランティアルームを活動拠点にしている4グループを中心に行うことに。目標に向かって準備や話し合いを進めることで、各グループともどんどん活性化していく姿がみられました。

『ウィズ・コロナ』のための工夫を

今後は、まだ関わりを持っていないグループや、活動再開に踏み出せていないグループと一緒に活動してみること、活性化につなげていきたいと話す岡田さん。



お手本を真似ながらバルーンアートに挑戦

「コロナ禍だからボランティア活動をしてはいけないのではなく、工夫して実行することが『ウィズ・コロナ』には必要だと思います。パフォーマンス系やものづくり系など、ボランティア内容によって活動形態も異なります。それぞれのグループにとって、どんな感染予防対策が必要か？どんな開催形式なら活動が可能になるか？グループの皆さんとともに考えながら、安心して活動ができるよう後方支援を行っていきたくて話してくれました。」

問合せ

港区ボランティア・市民活動センター
TEL 06-6575-1212 FAX 06-6575-1025
<http://www.minatoku-shakyo.com/>



バルーンの可愛い花が完成

第8期

ときどき“記者” よーせーこーざ

受講者募集



定員
15人
(先着順)

参加費
無料
(全2回)

取材時に必要なスキル、読者の心に届く表現の仕方・工夫など、市民ボランティア記者として必要な基礎知識を学ぶ2回連続講座です。受講後、情報誌『COMVO』で活動できます。



日時

11月7日(月)、11月14日(月)

いずれも午後6時30分から8時15分まで 2回連続講座

会場

大阪市立社会福祉センター 1階第7会議室(11/7)・3階第3会議室(11/14)
(大阪市天王寺区東高津町12-10)

対象

市内のボランティア・市民活動に興味があり、本誌『COMVO』の記者として活動できる人

11月7日(月)

取材が楽しくなるテクニック

内容 インタビューやコミュニケーションの中で、対話を楽しみながら、活動者や参加者の思いを聞き出すコツを学びます。

11月14日(月)

伝わる文章の書き方とは？

内容 たくさん得た取材内容の中から情報を絞り込み、読者に、大切なエピソードを伝える文章の書き方を学びます。

講師

朝日恵子さん(フリーライター)……ライター歴20年以上。おもに市民活動、福祉・人権などの分野で取材・執筆。深く聞き、ラクに書く方法を自ら研究しながら、市民向けの取材・執筆講座の講師もつとめている。

主催 大阪市ボランティア・市民活動センター

申込み・問合せ 大阪市ボランティア・市民活動センター(P.14参考)

※名前、住所、連絡先、志望理由を添えて、TEL、FAX、または右の申込みフォームからお申込みください。

申込みフォーム



令和4年度大阪市ボランティア活動振興基金 活動支援交付団体へ突撃取材

※福祉課題・地域課題に取り込む活動の継続的な実施を目的とした事業の支援

地域の中で育む、楽しい多世代交流の場

NPO粉浜サポーターズ

『NPO粉浜サポーターズ』は、住之江区粉浜地域周辺の魅力をSNSなどで発信するとともに、グルメやウォーキングなどさまざまなテーマで部活動を行い、地域の人たちが楽しくつながるまちづくりに取り組んでいます。



クラフト＆手芸部の皆さん。手作りの手芸品は、地域のコミュニケーションツールとして大活躍。

ごみいなの定期的開催。地域の人が手芸品を手に取りながら、気軽におしゃべりできる多世代交流の場として活用しています。

また、『ごみいなの』を開催する際には、これまで団体の活動に関わってくれた人たちに電話で声掛け。コロナ禍で家に引きこもりがちな高齢者の安否確認や外出のきっかけづくりも行ってきました。

『ごみいなの』では、今はコロナ禍でお茶もお出しできないので「早く御茶所を復活させたい」というのが今一番の願いですと、団体副理事長の宇都宮久美子さん。

今年の7月には、粉浜商店街の洋装店内に常設スペースが誕生。地域の人たちとふれあい、さまざまな声を毎日キャッチしながら、より素敵なまちづくりに活かそうと頑張っています。

問合せ

NPO粉浜サポーターズ
Eメール kohamaga.info@gmail.com
www.facebook.com/supporter.kohama

おいでよ! 地域の子どもたち

こども食堂や学習支援など、大阪市内各地で広がるこどもの居場所づくりの取組みをご紹介します。

地域のみんで一緒に楽しく食べる場所

やたなか@ふたばの会(東住吉区)

『やたなか@ふたばの会』は毎月第2・4火曜日の夕方6時から『特定非営利活動法人MSISK(エムエスアイエスケー)』が主催しているこども食堂です。

代表の岩崎拓海さん(以下、岩崎さん)は現在22歳。他のメンバーやボランティアも20歳前後と若く、とてもエネルギー的な団体です。

団体創立(法人化は2017年)当時、岩崎さんはなんと12歳。「中学校の同級生と、自然や環境をテーマに設立しました。それ以来、こどもたち



試行錯誤を重ねて、おいしいご飯づくりに努めるボランティアたち

楽しみにしています。様々な年代と関われる、新しい「こども会」のような活動を目指す『やたなか@ふたばの会』。目を閉じればこどもたちの笑い声や足音が蘇ってきます。

問合せ

特定非営利活動法人 MSISK
やたなか@ふたばの会
TEL・FAX 06-7505-4435
<https://www.msisk.net>

情報マーケットP.9②に募集情報を掲載



情報マーケット

Information Market

「参加してみたい!」と思ったり、
内容について聞いてみたいことがあれば、
各団体まで直接「コンボを見て」とお問い合わせください。



OCVAC のウェブサイトから
団体ホームページに簡単アクセス!

- 1 気になる情報があれば、スマホで下記QRコードをQRコードリーダーで読み取る
- 2 画面を下にスクロールして『COMVO』最新号の表紙写真をタッチ
- 3 情報マーケットページで、気になる情報掲載団体の URL をタッチ
- 4 団体ホームページにアクセスできます!



★『COMVO』のバックナンバーもご覧いただけます

④ 放課後学習会支援員募集

今市中学校元気アップ

<https://www.city.osaka.lg.jp/kyoiku/page/0000512472.html>

定期テスト前・テスト中に放課後子どもたちと一緒に勉強してくれるボランティアを募集しています。主に子どもたちの勉強の見守りをさせていただきます。

日 程 10/11(火)~10/17(月) 11/24(木)~12/1(木)
定期テスト前: 15:30~17:00
定期テスト中: 12:30~14:00

場 所 大阪市立今市中学校図書館(旭区大宮5-13-40)
地下鉄「太子橋今市」駅から徒歩6分
京阪「千林」駅から徒歩15分

人数・条件 大学生以上 交通費あり(上限480円)

申込方法 電話(事前面接あり)

問合せ▶ TEL/06-6952-0371

Eメール(担当:「元気アップコーディネーター」川端)

① 視覚障害者の俳句クラブのお手伝い

大阪市身体障害者団体協議会

<http://shishinkyu.o.oo7.jp/>

視覚障害者の俳句クラブのお手伝いを募集しています。点字やパソコンのできる方大歓迎ですが、特別な技術がなくても大丈夫です。

日 程 毎月最終火曜日 13:00~16:00

集合場所 早川福祉会館(東住吉区南田辺1丁目9-28)
地下鉄「駒川中野」駅1番出口から徒歩10分
地下鉄「西田辺」駅1番出口から徒歩15分

人数・条件 どなたでも

申込方法 電話、Eメール

問合せ▶ TEL/06-6765-5636

Eメール houmon3@mbr.nifty.com(担当:森田)

⑤ 第7回1000人文化祭ボランティア募集

特定非営利活動法人 希望の居場所

<http://1000c.jp>

大阪発信おもろいプレゼンショー「1000人文化祭」を開催。
受付補助、会場係等のボランティアを募集します。

日 程 10/1(土) 12:30~19:00

場 所 大阪市立住まい情報センターホール(北区天神橋6-4-20)
地下鉄「天神橋筋6丁目」駅

人数・条件 どなたでも(交通費・食事代として3,000円)
募集定員15人(先着順)

申込方法 電話・FAX・Eメール・郵便

問合せ▶ TEL/06-7175-4748 FAX/06-7175-1099

Eメール 1000c.eikan@gmail.com(担当:前田)

② 子ども食堂 やたなか@ふたばの会でボランティアしませんか?

特定非営利活動法人 MSISK

<https://www.msisk.net>

子ども食堂の運営ボランティアを募集します。

日 程 毎月第2・4火曜日 18:00~20:00

場 所 矢田中ひまわり会館(東住吉区矢田3-8-7)
近鉄南大阪線「矢田」駅から徒歩5分

人数・条件 子ども、環境教育分野に関心のある方(5人)
食事あり

申込方法 電話・Eメール・郵便・HP・来所

問合せ▶ 〒546-0014 大阪市東住吉区鷹合3丁目8-17

TEL/06-7505-4435 Eメール info@msisk.jp(担当:岩崎)

⑥ 天体観察会「土星、木星を見よう」

関西で星を学ぶ会

<https://sites.google.com/view/kansaidehoshi/>

惑星が賑やかに星空で輝く季節です。環が美しい「土星」、しま模様とガリレオ衛星がくっきりと見える「木星」を本格的な天体望遠鏡で見ます。

日 程 10/29(土)11/26(土) 18:30~20:00

場 所 浅香中央公園 中央の広場(住吉区浅香1-6)
地下鉄「あびこ」駅4番出口から徒歩8分
JR「杉本町」駅から徒歩8分

人数・条件 どなたでも 参加費:無料(マスク着用、虫よけスプレー持参)

申込方法 申込不要

問合せ▶ TEL/090-8121-6929

Eメール k337yjunamg@gmail.com(担当:モミヤマ)

③ 小学生キックベースチームのお手伝い募集中♪

三津屋連合子ども会キックベースボール

<https://mitsuyakick.wixsite.com/mitsuyakick>

保育・教育を学んでる方、小学生女子チームのサポートをお願いします。
webサイトかインスタで「三津屋キック」と検索して詳細をご確認ください。

日 程 毎週土曜日午前/日曜日午後の可能な日

場 所 三津屋小学校グラウンド(淀川区三津屋中1-4-14)
阪急神戸線「神崎川」駅から徒歩5分
阪急各線「十三」駅から徒歩15分

人数・条件 大学生または社会人の18歳以上の方
募集定員あり(先着順)

申込方法 Eメール・HP(メールかWEBサイト、インスタグラムのDMから、まずは見学の申込みをお願いします)

問合せ▶ TEL/090-9213-9440

Eメール mitsuyakick@gmail.com

⑪ 令和5年度 大阪区民カレッジ受講生募集案内

NPO法人 大阪区民カレッジ

http://www.osakakumin.org/

地域の歴史・伝統・文化と現状を学び、地域社会との交流を深め、心身ともに健康なカレッジ生活を目指します。

日程 令和5年4月開校(令和6年3月までの1年間) 授業数:年間24回
原則月曜日 10:00~15:00

場所 大阪市立中央区民センター(中央区久太郎町) 他市内7校
地下鉄「堺筋本町」3番出口から徒歩3分 ほか

人数・条件 健康で全期間を通じて受講できる人
定員:各校40人 受講料:29,000円(年間)

申込方法 郵便・HP・来所(募集期間:10/11~10/24 16:00)

問合せ▶ 大阪市教育会館
〒540-0006 大阪市中央区法円坂1-1-35
TEL/06-6947-2710 FAX/06-6360-4410 (担当:中原)

⑫ はじめの一步!ボランティアスタートアップ講座

中央区社会福祉協議会

http://www.osaka-chuo-syakyo.jp/

これからボランティア活動をしてみたい、でもどんなボランティア活動があるのかな...そんな初心者向け講座です。楽しくボランティア体験をしましょう!

日程 ①10/8(土)13:00~15:30「オリエンテーション、エコキャップの分別体験」
②10/15(土)10:00~12:00「楽しくグリーンアップ!(清掃活動)」
③10/22(土)13:30~15:30「はじめての手話体験」
④10/29(土)14:00~16:00「ボランティア交流会~ボランティアのしゃべり!ば~」

場所 大阪市中央区社会福祉協議会(中央区上本町西2-5-25)
地下鉄「谷町6丁目」駅3番出口から徒歩5分

人数・条件 どなたでも 定員:20人 参加費:無料

申込方法 電話・FAX・Eメール・HP・来所 締切:10/1(土)※先着順

問合せ▶ TEL/06-6763-8139 FAX/06-6763-8151
Eメール chuo-tiiki-katadow@shakyo-osaka.jp (担当:中原)

⑬ 思春期の性教育~子どもへの伝え方~

クレオ大阪子育て館

https://www.creo-osaka.or.jp/north/

性について話し、正しい知識を持つことは、性被害から子どもを守ります。本講座では、大人が性の模擬授業を受け、子どもへの伝え方を学びます。

日程 10/2(日)14:00~16:00

場所 クレオ大阪子育て館(北区天神橋6-4-20 7階)
地下鉄、阪急千里線「天神橋筋六丁目」駅3番出口から連絡
JR大阪環状線「天満」駅から北へ徒歩10分

人数・条件 子育て中の保護者、学びたい大人
参加費:無料 定員25人(多数抽選)

申込方法 電話・FAX・ホームページ・来所 (締切:9/22)
一時保育有(定員有・要事前申込9/22締切)
※対象:3か月~小学校3年生

問合せ▶ 〒530-0041 大阪市北区天神橋6-4-20
TEL/06-6354-0106 FAX/06-6354-0277
Eメール info@osaka-kosodate.net (担当:岸)

⑭ 不登校になった小学2年~中学~高校~大学~就職までの子育て体験をシェアします

ひとリトリート

https://1retreat.net/

こんにちは!私は元不登校2児(8歳~18歳の間を経験)の母です。当時を振り返って、やって良かったことや工夫したことで、明るい不登校ライフに繋がった体験をお話します。

日程 10/5(水)、10/12(水)、10/19(水) 13:00~15:00

場所 ハッチエデュケーション内レンタル教室1階(阿倍野区阪南町1-54-15)
地下鉄「昭和町」駅

人数・条件 どなたでも 定員15人(先着順) 参加費:無料

申込方法 電話・FAX・Eメール

問合せ▶ TEL/080-5777-8663 FAX/0725-24-5513
Eメール y-shinmachi@mi-koro.com (担当:もり)

⑦ 第26回チャリティーコンサート 西村由紀江ピアノコンサート

社会福祉法人 関西いのちの電話

http://kaindnew.com

作曲家・ピアニスト。ドラマ・映画・CMの音楽を多数手がけ、TV・ラジオの出演、執筆も行う。故郷豊中市のストリートピアノプロジェクト親善大使。

日程 10/1(土) 13:30開場 14:00開演

場所 豊中市立文化芸術センター大ホール(豊中市曾根東町3-7-2)
阪急電車「曾根」駅から東へ徒歩5分

参加費 指定席・自由席ともに、前売券3,500円(当日券4,000円)
※指定席券は、チケットぴあでの取り扱いとなります。
※未就学児の入場はご遠慮ください。

申込方法 電話・FAX・Eメール

問合せ▶ 関西いのちの電話事務局
TEL/06-6308-6868 FAX/06-6308-6180
Eメール kaind@x.age.ne.jp (担当:石井)

⑧ 障がい者のためのパソコンボランティア 令和4年度大阪府障がい者ITサポーター養成研修会 受講者募集!

大阪府ITステーション

http://itsapoot.jp

障がいのある人がITを学ぶ際にサポートができるボランティアを養成します。サポートをするときに必要な心構えや知識を学んでいただきます。

日程 第3回 10/5(水)・10/6(木) 9:30~16:30
第4回 令和5年 1/16(月)・1/17(火) 9:30~16:30

場所 大阪府ITステーション(天王寺区上汐4-4-1)
地下鉄「谷町九丁目」駅から南へ600m
地下鉄「四天王寺前夕陽ヶ丘」駅から北へ600m
近鉄電車「大阪上本町」駅から南西へ800m

人数・条件 大阪府内に在住・在勤・在学(高校生不可)で大阪府ITステーションの活動にボランティアとして協力可能な18歳以上の方。各回2日間とも参加可で、Word/Excel/PowerPointの基本的な操作等を説明できる方。参加費:無料 募集定員:6人

申込方法 電話・FAX・Eメール・郵便・HP・来所 締切:第3回 9/25(日) 第4回 令和5年1/4(水)

問合せ▶ TEL/06-6776-1241 FAX/06-6776-1281
Eメール sapoken@itsapoot.jp (担当:岡嶋)

⑨ 趣味の「ものづくり」から始めるボランティア養成講座

平野区社会福祉協議会/平野区ボランティア・市民活動センター

http://hirano-kushakyo.or.jp/

特技や趣味をいかして、自分らしいボランティア活動をしてみませんか? 色々な「ものづくり」から始めるボランティアを提案します。

日程 1回目 10/28(金)13:30~15:30
2回目 11/4(金)13:30~15:30

場所 にこにこセンター(平野区平野東2-1-30)
JR「平野」駅から徒歩15分
地下鉄「平野」駅4番出口から徒歩13分

人数・条件 ものづくりのボランティアに興味のある方
全2回講座に2回とも参加できる方
定員20人(締切:10/14) 参加費:100円

申込方法 電話・FAX・来所

問合せ▶ TEL/06-6795-2525 FAX/06-6795-2929
Eメール nico-nico.c@3sweb.ne.jp (担当:菱井)

⑩ 点訳ボランティア養成講座

生野点訳サークル

点訳を基礎から学び、受講修了後点訳ボランティアとして活動していただく方を募集しています。(講習内容:点訳の基礎・パソコン点訳・講演会)

日程 10/15~令和5年2/18までの毎週土曜日 18:30~20:30
全17回 ※11/12、12/31は休講

場所 生野区民センター(生野区勝山北3-13-30)
JR「桃谷」駅から徒歩15分

人数・条件 どなたでも 定員15人(先着順)
参加費:1,400円(『点訳のてびき』をお持ちの方は受講料無料)

申込方法 電話・FAX・郵便(※下記問合せ先まで)

問合せ▶ 生野区社会福祉協議会
〒544-0033 大阪市生野区勝山北3-13-20 (地域支援担当)
TEL/06-6712-3101 FAX/06-6712-3001

19 認定NPO法人取得資金助成

公益財団法人 SOMPO福祉財団

<https://www.sompo-wf.org/jyosei/nintei-npo.html>

地域の中核となり、持続的に活動する質の高いNPO法人づくりを支援し、「認定NPO法人の取得」に必要な資金を助成します。詳細はHPをご覧ください。

助成対象 社会福祉分野で活動し、認定NPO法人の取得を計画している特定非営利活動法人。(インターネット申請が可能な団体)

助成額 1団体あたり30万円(総額300万円予定)

応募方法 HPの申し込みフォームより、必要事項を入力の上、送信してください。
※その他の提出資料についてはHPをご覧ください。

応募締切 10/7(金) 17時

問合せ▶ 公益財団法人 SOMPO福祉財団事務局
TEL/03-3349-9570 FAX/03-5322-5257
問合せフォーム <https://www.sompo-wf.org/contact.html>

20 「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」第14回助成プログラム

阪急阪神ホールディングスグループ

<https://osakavol.org/news/subsidy/yumemachi2022.html>

阪急阪神沿線に特化した市民団体助成プログラムです。助成金は使途自由で、運営資金にも利用可能。広報PRもお手伝いします。

募集分野 【A「地域環境づくり」】

安全安心かつ文化的で、環境に配慮し発展する、持続可能なまちづくり

【B「次世代の育成」】

未来を担う子ども達が、夢を持ち、健やかに成長する機会づくり

助成額 【部門I】1団体あたり50万円(10団体程度)

【部門II】1団体あたり100万円(5団体程度)

応募資格 阪急阪神沿線の市町を活動フィールドとし、募集分野における活動実績が3年以上ある非営利の市民団体など(詳細は募集要項をご確認ください)

応募方法 上記URLで公開している募集説明動画をご確認のうえ、ご応募ください。

応募締切 10/14(金)正午必着(データ送付)

問合せ▶ 社会福祉法人 大阪ボランティア協会(担当:市居、江洲)
TEL/06-6809-4901 FAX/06-6809-4902
質問フォーム <https://forms.gle/KzozfA4XkpgbQcfb7>

21 2023年度ヤマト福祉財団助成金

公益財団法人 ヤマト福祉財団

<https://www.yamato-fukushi.jp/works/subsidy-2023.html>

福祉施設・団体のお手伝いとして、障がいのある人々の給料を増額するための新規事業の立ち上げや生産性向上に必要な設備や機器を購入する資金と、障がいのある人々の福祉を進進するための事業や活動の資金を助成します。

I.障がい者給料増額支援助成金

障がい者の給料増額に努力し取り組む事業所・施設に対し、さらに多くの給料を支払うための事業の資金として助成

助成額 50万円～最大500万円(30件程度)

助成対象事業 ○障がい者の給料増額のモデルとなる効果的な事業

○現在の事業を進展させ給料増額につながる事業

○新規に行い、給料増額が見込まれる具体的な事業

※現在ある備品等の代替費用および材料費等の消耗品は対象になりません

助成対象 就労継続支援 A型事業所・就労継続支援 B型事業所・生活介護事業所・地域活動支援センター ※詳しくはHPをご覧ください

II.障がい者福祉助成金

給料増額にはこだわらず、障がいのある方の幸せにつながる事業・活動に対して助成。福祉事業所に限らずボランティア団体、サークル等、幅広い活動を支援します。

助成額 総額2,000万円(1件あたり最大100万円)

助成対象 1.会議・講演会 2.ボランティア活動 3.スポーツ活動・文化活動
4.調査・研究・出版

応募方法 I、IIそれぞれ必要な書類を揃えて郵送ください。

応募期間 I、IIともに10/1(土)～11/30(水)(※当日消印有効)

問合せ・送付先▶ 公益財団法人 ヤマト福祉財団 助成金事務局
〒104-8125 東京都中央区銀座2-16-10
TEL/03-3248-0691 FAX/03-3542-5165
問合せフォーム
<https://www.yamato-fukushi.jp/form/contact.html>

15 不登校などで悩む学生たちの居場所

セカンドホーム

<https://www.second-home2022.com/>

不登校や発達障がい、場面緘黙症、吃音など生活でお困りごとのある学生さんたちが話したり遊んだりする居場所です。

日程 第1・3土曜日 14:00～17:00

場所 コミ協ひがしなり区民センター(東成区大今里西3-2-17)
地下鉄「今里」駅から徒歩2分
近鉄線「今里」駅から徒歩10分

人数・条件 不登校や場面緘黙症、吃音、発達障害のある10代の方、又はその保護者様
参加費:無料

申込方法 Eメール・HP

問合せ▶ TEL/080-7981-4081
Eメール yuchan.44@yahoo.ne.jp(担当:神田)

16 トランスジェンダーへの訪問看護～

【登壇者:山本由里×山崎あおい】

ライフホスピタリティマネジメントサービス

<https://lhms.jp/>

【トランスジェンダー当事者と訪問看護師のトークセッション】

訪問看護師が支えるトランスジェンダーへの支援について

日程 10/16(日) 13:30～15:00(開場:13:00～)

場所 大阪市立住吉区民センター2階 図書館棟 集会室4(住吉区南住吉3-15-56)
南海線「沢ノ町」駅から徒歩5分
JR「我孫子町」駅から徒歩10分

人数・条件 どなたでも 定員:30名(先着順) 参加費:無料

申込方法 電話・FAX・Eメール・HP

問合せ▶ TEL/080-8322-5530 FAX/06-7635-8664
Eメール info.lhmservice@gmail.com(担当:山崎)

17 全国高校生何でも、アリ。Creative Award 2022

秋田公立美術大学

<http://u18cc.jp>

部活でも、遊びでも、研究でも、趣味でも、何でもアリ。今、夢中になって取り組んでいる活動、心を突き動かしてくれる活動を、3分以内の動画で教えて下さい。

対象 ・高校生(活動本人が高校生であること)
・高等学校に所属している生徒(年齢不問)
・高等学校には、定時制高校・高等専門学校(3年以下)
・通信制高校・高等専修学校・特別支援学校(高等部)を含みます
・異なる高等学校で構成されたチームでも可
※対象かどうか不明な場合はお問い合わせください。

賞 金賞/30万円+お米1俵相当(1件) 銀賞/5万円(最大5件) 銅賞/1万円(最大10件)
協賛企業賞/各1件(JR東日本秋田支社、JA全農あきた、秋田魁新報社)

応募方法 活動をまとめた3分以内の動画を添えて、Google Formsよりご応募ください。
Eメール、郵送でもご応募いただけます。※詳細はHPをご確認ください。

応募締切 10/18(火)

問合せ▶ NPO法人 アーツセンターあきた 〒010-1632 秋田県秋田市新屋大川町12-3(アトリエももさだ内)
TEL/018-888-8137 Eメール info@u18cc.jp

18 「地域助け合い基金」でコロナ禍を乗り越えて共生社会へ

公益財団法人 さわやか福祉財団

<https://www.sawayakazaidan.or.jp/covid19-donate/>

新型コロナウイルスの感染拡大により、支援が必要な人の地域における孤立はさらに深刻となり、これまでも増して助け合い活動が必要です。そこで、必要な資金を全国からのご寄付として募り、助け合いを行う皆様へお渡しする助成を行います。

対象活動 地域で暮らし人同士の助け合い活動を対象とし、新たに団体を設立する場合のほか、新たに活動を広げる場合やコロナ禍に対応して特別な助け合い活動を行う場合も助成します。

助成対象 法人格の有無は問いません。個人による活動を含みます。

助成額 具体的に必要とする額(上限は15万円)

応募方法 HPから申込書・誓約書をダウンロードし記入し、添付書類と一緒にメールまたは郵送※郵送申請の場合は、必ず事前に電話でご連絡ください。(03-5470-7751)

問合せ▶ 【メール送付先】
公益財団法人さわやか福祉財団「地域助け合い基金窓口」
メール送付先:tasukeai-kikin@sawayakazaidan.or.jp
【郵送送付先】
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館7階
公益財団法人さわやか福祉財団「地域助け合い基金窓口」

NPO団体 リアルレポート

活発に市民活動に取り組むNPO団体からのメッセージをリリーススタイルでお届けします。

「子育て」をサポートする コミュニティづくりの挑戦

『「助けて!」って言うてもええねんで』、『まずは、ごはん!』をモットーに、こどもの貧困や虐待といった問題を解決したいと、2013年5月より大阪市生野区を拠点に活動しています。

主な活動は、全国から届く子どもや保護者からの相談や緊急サポート依頼に対応しながら、つながった親子らの居場所や仕事づくりもしています。昨年は、生野区に新たな拠点を創るため古民家を取得し、子どもやシングルマザーらと改修しました。現在、コロナの影響で集まってごはんを食べることは難しく、ここで週3回お弁当を作り自宅に届けています。野菜は和歌山県橋本市にある支部の畑で作ったものを活用しています。今後この新拠点では、カフェとして自家焙煎のコーヒーに、スイーツや食事の提供などさらに仕事を作っていく予定です。

その他、コロナ禍で増えた若者のニーズに応えるため、今年4月、ミナミの繁華街に10代向けのシェアハウスもオープンしました。

活動は今年で10年目となりましたが、すべて制度外の自主事業です。民間の様々な方々のご支援や心寄せだけで成り立っています、世の中は捨てたものではありません。これからもニーズがある限り、心ある方々と共に地道に続けていきたいと考えています。

<https://cpao0524.org>

認定NPO法人CPAO/しーぱお



支部で育てた野菜を、おいしいお弁当にして提供

情報求む!

ボランティアの募集情報や、ボランティア・市民活動に関するイベント・セミナーの告知情報を常時、お待ちしております。どしどしお寄せください。



申し込み方法

専用フォームから情報をお寄せください。
<https://ws.formzu.net/fgen/S35245908/>

申込先・問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター ボランティア・市民活動情報誌[COMVO] 編集室
天王寺区東高津町12-10 TEL/06-6765-4041 FAX/06-6765-5618
Eメール ocvac@osaka-sishakyo.jp (担当:泉・竹澤)

※募集締切は掲載希望号発行月の前々月末日とします。(例:2022年11月15日発行号(12月号)に掲載希望の場合は2022年9月末まで)

おことわり

※受付・掲載有無について、編集室からはご連絡しません。※申し込み＝掲載確定ではありません。誌面に限りもあり、ご希望に添えない場合があります。※掲載された場合は、編集室から問い合わせや申し込み状況などの反響についてお尋ねする場合があります。

大切なお知らせ!!

新型コロナウイルスの感染防止のため情報マーケットに掲載の活動やイベントなどを予告なく中止・延期とする場合があります。ご了承ください。



必ず参加前に連絡して確認をお願いします

OCVAC(おくばっく) オリジナルエコバッグをプレゼント!!

いつも情報誌COMVOをご愛読いただき誠にありがとうございます。P14上段の読者アンケートにご協力いただいたみなさまの中から抽選で毎号5人に、大阪市ボランティア・市民活動センター公式マスコットキャラクター『おくばっくん』をプリントしたオリジナルエコバッグをお送りします。

ぜひ、ご意見・ご感想をお聞かせください。

※応募は、ハガキ、ファックス、Eメール、またはQRコードからお送りください(P14参照)

小さくたたんで
持ち歩けるよ!



縦410mm×横380mm



子どもたちを見守りながら、勉強や遊びをサポート

地域とのつながりを、これからも大切に

これから社会に飛び出していく学生。さまざまな活動や人との交流ができるボランティア活動。興味を持つきっかけや、現在の活動、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなど、若者たちのリアルな声を届けます。

学生ボランティア活動

連載リレーコラム No.24

がんばれ!

それゆけ!

私は東成区にあるひだまり学習塾でボランティアをしています。ひだまりは母子生活支援施設を退所した子どもたちに向けた塾ですが、子ども食堂や居場所支援の役割も担っています。子どもたちが勉強にも遊びにも全力で取り組めるようにサポートするのが学生スタッフの仕事です。

私がひだまりを知ったきっかけは、当時の施設長の講演を聴いたことでした。「ただ勉強だけをする場所ではなく、居場所であり、親子の自立を促す場所でありたい」と仰っていたことが印象に残っています。そしてお話の中で一番驚いたのが、民生委員・児童委員さんと一緒にひだまりを運営しておられるということでした。それまでは施設という言葉にどこか閉鎖的なイメージを持っていたのですが、ひだまりが地域にひらけた場所であることを知って興味を持ち、ボランティアをしたいと思つようになりました。

それから実際に参加して、ひだまりには様々な世代の人が集まることでしか生まれえない、温かくて安心できる雰囲気があると感じています。そんな唯一無二のひだまりを、これからも大切に引き継いでいきたいと思



大阪人間科学大学
社会福祉学科
中村しずり(21歳)

プロフィール

所属団体: ひだまり学習塾
趣味: 弓道、漫画鑑賞
学年: 4年生

学生コラムライター大募集!!

情報誌『COMVO』では、ボランティア活動への思いを寄稿してくれる学生を募集中!!

ボランティアに興味を持ったきっかけや、いま活動していること、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなどを書いてみませんか?

対象 大阪市域でのボランティア活動に取り組む学生(大学生・専門学校生・高校生)

※活動分野は不問。在籍学校は市外でもかまいません。

内容 文字数500文字程度(ご本人の写真、活動中の写真もデータでご提供いただきます)

応募方法 右のフォームからお申込みください。エントリーいただいた方には折り返しご連絡いたします。

お問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター
ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室
TEL.06-6765-4041 FAX.06-6765-5618 (担当: 泉・竹澤)

エントリーはこちらから▶



アンケートにご協力ください!

COMVOではよりよい誌面づくりのため、読者の皆さんに毎回アンケートのご協力をお願いしています。あなたのご意見やご感想をお聞かせください。抽選で毎月5人に記念品をプレゼントします。

応募方法

- ①あなたの氏名、郵便番号、住所、性別、職業、年齢、電話番号、本誌入手先、読者歴をお書きください。
- ②下記の1～6の質問の回答をお書きください。

- あなたのボランティア活動歴を教えてください。
ア なし イ 1年未満 ウ 1～4年 エ 5～9年 オ 10年以上
- 活動歴のある人は活動内容を覚えている範囲で教えてください。
- これまでに情報誌 COMVO を見て、ボランティア活動をしたことはありますか。
ア ある イ なし ウ まだ迷っている(その理由も教えてください)
- 今月号で良かった記事は何ページですか?その理由も教えてください。
- 本誌で取り上げてほしいテーマや活動、団体、行事、イベントなどがあれば教えてください。
- その他、ご意見、ご感想を記入ください。

①、②の必要事項をFAXかハガキに記入のうえ、当センターまでお送りください。
※パソコン・スマホからも回答できます。

<https://ws.formzu.net/dist/S38892286/>

(宛先)

大阪市ボランティア・市民活動センター
「読者アンケート 情報誌COMVO270号係」まで

(住所は下記参照)

※締め切り 2022(令和4)年10月10日(消印有効)

※当選者の発表は記念品の発送をもってかえさせていただきます。

※お預かりした個人情報、本誌の内容向上と、記念品送付の目的のみに使用します。また、募集したテーマについてご意見を誌面に掲載する場合がありますが、個人を特定される記載は行いません。



大阪シティ信用金庫
社会貢献活動トピックス

「御迎人形」の展示などで天神祭に協力

当金庫は、千年の歴史を持ち、東京の神田祭、京都の祇園祭と並ぶ三大祭の一つである「天神祭」に、伝統文化の保存、継承に協力すべく平成元年から協賛しています。

地域の安寧を願って実施される同祭に協力するため、7月19日から29日まで、本店営業部ロビーにおいて、新型コロナウイルス感染防止を願い「御迎人形」を展示しました。これらの人形は「疫病祓い」の意味を持つ緋色を必ず身に付けています。また、22日には、300年以上の歴史を持ち、天神祭を盛り上げる獅子舞などを伝承する講社「天神講」が本店営業部に来店され、勇壮な獅子舞を披露いただきました。



「御迎人形」(左)と天神講による獅子舞(右)

ボランティア・市民活動情報誌
コンボ
「COMVO」へ広告募集!

赤字が
本文 1/5 ページ
サイズと同じです

「普段着のわたし、ステキにいいこと」をコンセプトにしたボランティア・市民活動情報誌COMVO。

大阪のボランティア・市民活動情報が満載!市民が誰でも気軽に手に入れることができるフリーペーパーに貴社の広告を掲載しませんか。



- 体裁・発行・部数
B5判 16頁(フルカラー)年10回発行
- 広告申し込み締切
発行日の2ヶ月前(スペースに限りがありますので、お早めに申してください)
- 申込方法
下記まで問合せください

広告料金(税込)

掲載箇所 スペース	料金(税込)	版下サイズ(mm)	
表4 1ページ	234,000円	240×170	
表4 1/2ページ	127,500円	117×170	
本文 1ページ	156,000円	257×182	240×170
本文 1/2ページ	85,000円	117×170	
本文 1/5ページ	38,000円	48×162	

※原稿は原寸大の完全原稿(データ)で入稿ください。
それ以外は別途製版料が必要です。
※掲載ページの指定はできません。
※内容により掲載をお断りする場合があります。

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会 ふれあいネットワーク

大阪市ボランティア・市民活動センター

Osaka City Voluntary Action Center

所在地/〒543-0021大阪市天王寺区東高津町12-10大阪市立社会福祉センター1F

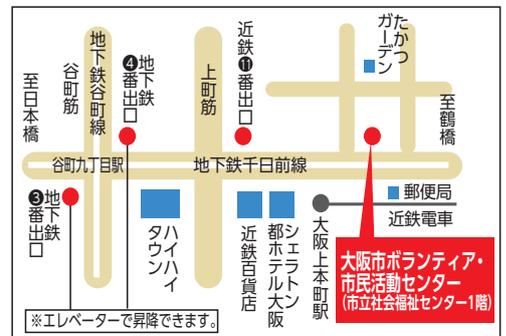
TEL/ 06-6765-4041 FAX/ 06-6765-5618

E-mail/ocvac@osaka-sishakyo.jp <https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/>

- 開館時間:午前9時～午後7時(月～金) 午前9時～午後5時30分(土)
- 休館日:日・祝・国民の休日・年末年始 ●発行日:2022年9月15日(8月と1月を除く毎月15日発行)
- 発行部数:40,000部 ●制作協力:商工印刷株式会社 ●点訳協力:NPO法人ぽこ・あ・ぽこ

掲載写真についてはすべて、撮影・掲載の許可を得たものを使用しています。

●本誌は大阪府共同募金会の助成をいただいています



企画・発行

「COMVO」主な設置・配布場所 ウェブサイトからもチェック可能! <https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/comvo/>

阪神電車(梅田駅・野田駅)、大阪市サービスカウンター(梅田・難波・天王寺)、各区在宅サービスセンター(区社協)、大阪市役所・区役所、区民センター、フレオ大阪、大阪市内の各区図書館、大阪市立総合生涯学習センター・市民学習センター各館、大阪市商店会総連盟加盟店街、大阪シティ信用金庫府内の店舗など

※OCVAC(大阪市ボランティア・市民活動センター)では、バックナンバーの閲覧、入手も可能です。

twitter <http://twitter.com/ocvic1998> Facebookページ <https://www.facebook.com/ocvac>

森と人間、 どちらも元気にする方法が 見つかった。

インドネシア熱帯雨林再生プロジェクト。地元住民が生活のために伐採した森林の再生のためには、まず彼らの暮らしを支える経済貢献が必要でした。また、植林が進んだ後は、再生した森がまた伐採されないよう、地元小学校への啓発と支援も進めました。木を植える。そのシンプルな環境貢献のために一番必要になったのは、地元で暮らす人々との対話でした。森がよみがえり、人に笑顔が戻る。私たちの環境問題への取り組みは「対話」からはじまります。



インドネシアバリヤン第二小学校

対話するエコ。

立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

24区ボランティア・市民活動センター一覧

ボランティア活動に関するご相談をお気軽にお寄せください。

名称	所在地	電話(06)	FAX(06)
北区ボランティア・市民活動センター	北区神山町15-11 いきいきネット	6313-5566	6313-2921
都島区ボランティア・市民活動センター	都島区都島本通3-12-31 ふれあいセンター都島	6929-9500	6929-9504
福島区ボランティア・市民活動センター	福島区海老江6-2-22 あいあいセンター	6454-4553	6454-6331
此花区ボランティア・市民活動センター	此花区伝法3-2-27 此花ふれあいセンター	6462-1224	6462-1984
中央区ボランティア・市民活動センター	中央区上本町西2-5-25 ふれあいセンターもも	6763-8139	6763-8151
西区ボランティア・市民活動センター	西区新町4-5-14 にしながほり	6539-8075	6539-8073
港区ボランティア・市民活動センター	港区弁天2-15-1 ひまわり	6575-1212	6575-1025
大正区ボランティア・市民活動センター	大正区小林西1-14-3 大正区ふれあい福祉センター	6555-7575	6555-0687
天王寺区ボランティア・市民活動センター	天王寺区六万休町5-26 ゆうあい	6774-3377	6774-3399
浪速区ボランティア・市民活動センター	浪速区難波中3-8-8 浪速区在宅サービスセンター	6636-6027	6636-6028
西淀川区ボランティア・市民活動センター	西淀川区千舟2-7-7 ふくふく	6478-2941	6478-2945
淀川区ボランティア・市民活動センター	淀川区三国本町2-14-3 やすらぎ	6394-2900	6394-2978
東淀川区ボランティア・市民活動センター	東淀川区菅原4-4-37 ほほえみ	6370-1630	6370-7330
東成区ボランティア・市民活動センター	東成区大今里南3-11-2 ひがしなり	6977-6336	6977-6339
生野区ボランティア・市民活動センター	生野区勝山北3-13-20 おかちやま	6712-3101	6712-3001
旭区ボランティア・市民活動センター	旭区高殿6-16-1 あさひあったかセンター	6957-2200	6957-7282
城東区ボランティア・市民活動センター	城東区中央2-11-16 ゆうゆう	6936-1153	6936-1154
鶴見区ボランティア・市民活動センター	鶴見区諸口5-浜6-12 鶴見区在宅サービスセンター	6913-7070	6913-7676
あべのボランティア活動センター	阿倍野区帝塚山1-3-8 阿倍野区在宅サービスセンター	6628-3434	6628-9393
住之江区ボランティア・市民活動センター	住之江区御崎4-6-10 さざなみ	6686-2234	6686-0400
住吉区ボランティア・市民活動センター	住吉区浅香1-8-47 いきいき	6607-8181	6692-8813
東住吉区ボランティア・市民活動センター	東住吉区田辺2-10-18 さわやかセンター	6628-2020	6622-8973
平野区ボランティア・市民活動センター	平野区平野東2-1-30 にこにこセンター	6795-2200	6795-2929
西成区ボランティア・市民活動センター	西成区岸里1-5-20 はぎのさと	6656-0080	6656-0668